



地図 航空写真



地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 利用規約



氷川神社

武蔵国の一宮であり、大宮の地名の由来大なる宮居ともなっている神社。2000年以上の歴史があるともいわれ、各地に点在する氷川神社の本拠を成す存在である。2kmに及ぶ長い参道には、ケヤキを始めとした高木が、600本以上植えられており、心地よい景観を作り出している。古く中山道は、一部この参道を通っていたが、不敬であるということで、江戸初期に新たな道が開削された。

お女郎地蔵

大宮宿に柳屋という旅籠があり、千鳥と都鳥という街道筋でも評判の姉妹が旅人の相手をしていた。やがて、宿の材木屋の若旦那と千鳥が恋仲となり、末は夫婦にと堅い約束。そこに割って入ったのが悪名高い神徳次郎という大盗賊。何が何でも千鳥を身請けするとせまり、ついに宿に火をつけると凄む始末。これを知った千鳥は、思い余って高台橋から身を投げってしまった...

火の玉不動

高台橋のあたりを毎夜火の玉が飛ぶので、ある男が火の玉に斬りつけてみると、きゅっと声がして火の玉が消え、暗がりになっていた不動明王と名乗る男が、「剣を斬り落とされた」と言い残して姿を消した。高台橋に行き不動の姿を確かめると剣を持っていなかった...。以来火の玉不動と呼ばれるようになった。



塩地蔵
吉敷1丁目右手、ビルの奥に塩地蔵が寂しく建っている。



東光寺
 寺伝によると、もとはこの地ではなく、大宮黒塚(氷川神社の東方)にあり、平安末期(約八百年前)武蔵坊弁慶の師匠、山城国京都鞍馬寺の東光坊阿闍梨宥慶法印が黒塚の鬼婆々を法力をもって退散させ、鬼婆々に殺された人々を葬る為に、この地に庵を結び天台宗寺院として開創されたのに始まる……。





氷川神社
 大宮氷川神社は武蔵一宮。何回も参拝に来たところだが、今回一の鳥居からは初めてでした。大宮の地名もこの神社に由来する

Map navigation controls including a compass, a person icon, and zoom in (+) and zoom out (-) buttons.

Scale bar showing 100 meters (328 feet) and 200 feet.











庚申塔

庚申塔(こうしんとう)は、庚申塚(こうしんづか)ともいい、中国より伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた石塔のこと。

天満宮

ここ宮原町にある天満宮の由来は分からないが、天満宮としての由来は、菅原道真を祭神とする神社である。政治的不遇を被った道真の怒りを静めるために神格化し祀られるようになった御霊信仰。



加茂神社

祭神は、五穀豊稔と子孫繁栄の神を意味する別雷神(わけいかずちのみこと)。
この神社は、天正10年(1582)の文書で加茂宮と記載されている古社であり、山城の国、賀茂別雷(かもわけいかずち)神社から勧請したと伝えられる。



南方神社

江戸時代の江戸時代の『五街道細見独案内』に、諏訪神社として登場する神社である。旧吉野村の鎮守で諏訪社とも呼ばれたが、明治40年近隣にあった9社を合祀し、現在の名前となった。地元では「お諏訪さま」と呼ばれている。

地図 航空写真





創作漬物河村屋
江戸文化文政期に地酒「養老の瀧」を取り扱っていて、その酒粕を利用して粕漬を創り出したのが「創作漬物 河村屋」の始まり。

庚申塔
不動尊の道馬喰新田バス停のすぐ脇にある川越道の道標を兼ねた庚申塔。正面には青面金剛が彫られ横に「是より秋葉へ十二町 ひご方へ壱里八町 川越へ三里」と刻まれている。歩道には中山道の道標がある。



地図 航空写真



27目

工業(株) (有)サトー

100 m
200 ft



上尾テニス 地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 利用規約



愛宕神社
愛宕神社の前に小さな祠がある。その中に「庚申塔」が鎮座している

愛宕公民館

地図 航空写真

2丁目

3丁目

愛宕



100 m
200 ft

©2013 Google, ZENRIN - 利用規約



遍照院

遍照院
江戸時代に寺領20石の朱印地を与えられた大寺であり、本尊は不動明王で江戸時代の作である

氷川鍬神社

氷川鍬神社
鍬祭りとして鍬を祀ったのが由来で、小さな鍬2丁を神体とし、五穀を司る農業神を祭神とする。

上尾宿と本陣の説明板
中山道上尾宿の始まりや由来、本陣(本陣1軒、脇本陣3軒)についての説明が書かれている。

脇本陣井上家の鬼瓦
井上五郎右衛門家が代々務めていた。当時の大きな屋根瓦の一部を堀にして残している。





彩の国平成の道標
中山道の目印として道標が立っていて、その屋根に鐘道様に乗っている。屋根に鐘道様を乗せておくと火事除けになると云われている。上尾宿の説明板もある。

庚申塔
上町の庚申塔。田沢タバコ店の角にある。

図書館西



紅花仲買問屋・須田家

紅花の仲買問屋であった豪商・須田家である。須田代八郎は江戸時代後期の久保村(現上尾市)の豪商、南村(現上尾市)須田家の分家で醤油醸造・質屋を営み、本家とともに穀物・紅花の取引を行っていた。





南の木戸跡

川越街道と分かれる交差点に、史跡木戸跡の石柱がある。江戸側の木戸のため、「南の木戸」や「下の木戸」と呼ばれている。

庚申供養塔

明和6年(1769)の庚申塔。



脇本陣跡
中山道宿場館と本陣の隣の民家が脇本陣であった。看板には「桶川宿」とある。

大雲寺
上の寺と呼ばれた曹洞宗龍谷山。弘治3年(1557)の開山と伝わる。墓地には本陣を勤めた府川家や宿場縁故の家々の墓がある

矢部家
「木半」の屋号を持つ矢部家の蔵造建物

浄念寺
下の寺と呼ばれ鐘は桶川宿の「時の鐘」と言われる。口を開けている阿形、閉じている吽形の仁王像が左右に立っている

藤倉家
魔除けと同時に火除けとして屋根に鍾馗様の像が祀られている

南の木戸跡
川越街道と分かれる交差点に、史跡木戸跡の石柱がある

武村旅館
幕末に紙屋半次郎がここで旅館を営み、大正時代に改築されたが内部の間取りは昔の名残を残す

100 m
200 ft



桶川宿碑
木戸跡の石柱がある

北木戸跡
木戸跡の石柱がある。鴻巣側の木戸のため、「北の木戸」や「上の木戸」と呼ばれている。戸に木戸の言伝えが書いてある。

一里塚跡
かつては歩道橋の下に碑があったが現在は無い





地図 航空写真

北本市立
東小
カインズ
ーム・北本店
埼玉
本店

地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 利用規約







十三仏
十三仏は、十王をもとに日本で考えられた、冥界の審理に関わる13の仏(正確には仏陀と菩薩)のことである。13の仏とは、閻魔王を初めとする冥途の裁判官である十王と、その後の審理(七回忌・十三回忌・三十三回忌)を司る裁判官の本地とされる仏である。

本宿説明板と北本宿の碑





多間寺
真言宗、智山派。本尊は毘沙門天立像。境内のムクロジ(推定樹齢200年)の木は県指定天然記念物である。蛇・邪悪・鶏・猿の描かれた庚申塔があり。





地図 航空写真

100 m
200 ft

地図データ ©2013 Google, ZENRIN. 利用規約





地図 航空写真



100 m
200 ft



地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 利用規約



地図 航空写真

深井 間神社

深井二丁目

深井

3丁目

2丁目

100 m
200 ft



地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 利用規約



鴻巣宿碑
ここより、鴻巣宿に入る。鴻巣宿 (江戸回り七番目の宿)と記載あり。

雑屋歴史資料館
吉見屋人形店の蔵をそのまま使用した歴史資料館



鴻巣本陣跡
今は「鴻巣本陣跡」という標石が
たっているだけである。

比叡神社

地図 航空写真



© 2013 Google, ZENRIN - 利用規約



池元院
蘭溪堂碑(らんけいどうひ)がある。
蘭溪堂如水、本名は北岡仙左衛門俊
之と云い、書道を長年教えてきた

鴻神社
鴻巣宿の中心にあった氷川社、
熊野社、雷電社を明治6年に合祀
し鴻三社と号したのが始まり

問屋場跡
問屋場とは大きく二つの仕事
があり、一つは人馬の継立業務で、
もう一つが幕府公用の書状や品
物を次の宿場に届ける飛脚業務
であった



白山神社
全国の白山神社は、総本社である白山比咩神社(石川県)の勧請を受けたとされている。

池元院
蘭溪堂碑(らんけいどうひ)がある。
蘭溪堂如水、本名は北岡仙左衛門俊之と云い、書道を長年教えてきた

地図 航空写真

2丁目

神明

3丁目

1丁目

加

加美

地図データ ©2013 Google, ZENRIN 利用規約



箕田観世音
境内には、大きな銀杏が4本立っている。

地図 航空写真





地図 航空写真

氷川八幡神社
箕田の地は嵯峨源氏の流れをくむ箕田源氏発祥の地であり、境内には、箕田源氏の由来を記した碑箕田碑がある。



100 m
200 ft

地図データ ©2013 Google, ZENRIN, 利用規約



箕田追分地藏堂
中山道と、日光方面へ向かう道との
分岐に建つ地藏堂

地図 航空写真



地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 利用規約





前砂の一里塚(14里目)
 14里目の一里塚。標柱が残るのみ
 である